

# ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN WEEKLY REPORT

2016-2017

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル  
■会長/木下 福郎 ■幹事/細井 俊男 ■会報・雑誌・広報委員長/木村 猛  
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号  
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



人類に  
奉仕する  
ロータリー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail [info@meinan-rotary.com](mailto:info@meinan-rotary.com) 2016-17年度 国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム

## 第 1213 回

2017年3月14日(火) 晴 第31回

～水と衛生月間(3/7-13 世界ローターアクト週間)～

斉唱 我らの生業  
出席 会員 53名 (出席率算入人数 41名)  
出席 37名 出席率 90.24%  
前々回補填率 87.18% (2月28日分)  
ゲスト ダルク家族相談室  
精神保健福祉士 繁原 賢吉さん  
米山奨学生 楊 光心さん

### 3月の誕生日

5日 三浦 隆さん 6日 鈴井 一博さん  
12日 加藤 宜之さん 17日 朝比美和子さん  
19日 久米 伸治さん 25日 水野 俊男さん  
26日 入谷 直行さん

### 配偶者誕生日

5日 朝比 久雄さん 10日 三浦 光子さん  
25日 入谷由紀子さん 29日 佐々木淳子さん

### 3月の結婚記念日

5日 江松 央統さん 11日 坂田 信子さん  
13日 細井 俊男さん 20日 三浦 隆さん  
20日 小野 雅之さん 28日 杉山 隆秀さん

## 副会長あいさつ

副会長 朝比美和子さん

皆さま、こんばんは。今、楊さんのお幸せそうな顔を先程からずっと拝見しておりまして、赤ちゃんが生まれたのかと思ってハグをし、幸せのお裾分けをしていただきました。本日はダルク家族相談室の繁原先生にも来ていただいて、後ほど卓話をお願いしております。



私事ではございますが、先程もお誕生日を発表していただきました。私にとって3月は大好きな月、そして大勢の方がお誕生日を迎えられ、結婚記念日でもありとても良い季節、もう春でございます。でも複雑な気持ちでもあります。この17日で満65歳を迎えます。あまり大きな声では言いたくないような年齢ですが、65歳を迎えましてこのところふと思う

のが、お子様やお孫様がいらっしゃる方が大勢見えると思いますが、私には孫はおりません。4月になりますと、小さなランドセルを背負って、若い方がそれぞれに新しい生活を始められます。眩しいほどの時期がやって参ります。

たまたま、私共も4月1日に20歳で入社する女の子が、まるで孫のようです。皆さまの会社も同じように、子や孫が生まれます。実際の孫はおりませんが、そういう意味では幸せな立場でおらせてもらっていると、父と母に感謝をしている所です。自分の子はなくても会社に居るのだと。そして明日からもベトナムへ参りますが、そのベトナムの子も本当に素直で一生懸命頑張ってくれております。そして2期生を求めて明日から面接に行くのですが、どうしてもベテラン社員から言わせると、社長は甘いと。孫のような子達です。どうしても甘くなってしまうのですが、これからその子達と一緒に、そして皆さまと一緒に、元気で明るく楽しく過ごして行ければと思っけて毎日生活しております。どうぞ宜しくお願い致します。

## 幹事報告

幹事 細井 俊男さん

1. 先週3月7日(火)の春の家族例会におきまして、奈良大宮ロータリーさんよりお菓子を頂戴しました。皆さまのテーブルに置いてあると思います。是非お忘れのないようお持ち帰りいただきたいと思ひます。
2. 時々ビジターでお越しになります奄美大島RCの福永さんより桶柑をお送りいただいております。受付にありますので、1人1個ずつお持ち帰りください。
3. 2月のニコボックスの合計ですが、4回分ございまして237,000円と大変沢山いただきました。ありがとうございました。
4. 次回3月21日(火)は熱田ローターアクトとの合同例会です。19時よりルーセントタワーの40階でございまして、お間違えのないように宜しくお願いします。

## ニコボックス

◆ダルク家族相談室 繁原 賢吉さんをお迎えて

鈴木 清詞さん 三島多恵子さん 下村 徹嗣さん  
高橋 司さん 川瀬 悟さん 三浦 隆さん  
中西 芳子さん 中村 勝さん 牧野 好弘さん

白藤 憲雄さん 杉山 隆秀さん 長尾 浅吉さん  
笥 惠理さん 新原 尚さん 大平 明子さん  
田中 一雄さん 加藤 英敏さん 細井 俊男さん  
小野 雅之さん 佐々木 暢さん 入谷 直行さん  
加藤 宜之さん 三浦 和人さん 朝比美和子さん  
伊藤 圭一さん 江松 央統さん 児島 徳和さん  
日下智重子さん 犬飼りさ枝さん 森田敏二三さん  
東山 直史さん

- ◆春の家族会では親睦委員長、若い男性お2人に大変お世話になり楽しい時間を頂き ありがとうございます。感謝です。 坂田 信子さん  
本日合計 42,000円 累計 1,469,500円

## 委員会報告

■米山記念奨学委員会 委員長 入谷 直行さん  
皆さま、こんばんは。米山記念奨学委員長の入谷でございます。本日のゲストで来ていただいています楊さんを、名南RCで2年間お世話をさせていただきましたが、3月末日をもちましてめでたく修了という事になりました。

聞くところによりますと先月男の子が生まれたそうで、大変おめでたい話でございます。しばらくは子育てと勉強を両立させて、博士号を取るそうなので、なお一層頑張ってくださいと思います。もう少し詳しいお話はカウンセラーの加藤さんからご紹介をお願い致します。

■米山奨学生カウンセラー 加藤 宜之さん  
皆さま、こんばんは。米山奨学生カウンセラーを担当していました加藤です。先週の土曜日、米山奨学生の卒業式がありました。全員で卒業生が31名という事で、皆さま大変賑やかに過ごされたと思います。

ただいま委員長よりお話がありましたように、楊さんはお子さまが生まれましたので少し学業を休業して、今年9月からまた学校へ行かれると聞いております。博士号も申請はしているのですが少し遅れるという事です。何とか今年無事に博士号を取っていただいて、米山奨学生が博士号を取りますと、本部から金時計がいただけるそうなので、是非それをいただきたいです。学友会にも入られるという事で、益々身近な付き合いが出来るのではないかと考えております。楊さん、宜しくお願いします。

それと今年から米山の副委員長はカウンセラーを兼ねてやっていただくという事になったそうなので、先程委員長より付け加えて報告して欲しいとの事です。次期副委員長とカウンセラー兼任という事で坂田さんをお願いをしておりますので、宜しくお願い致します。

それと先程委員長よりお話がありましたように、楊さんは本日で最後という事で、副会長より花束を贈呈していただきたいと思っております。宜しくお願い致します。楊さん、一言お願いします。

■米山奨学生 楊 光心さん  
皆さま、こんばんは。これまでの2年間、皆さまには大変お世話になりました。これまでの2年間は私にとって、毎月この例会に参加させていただいた事や、米山の活動に参加した事など、とても貴重な

経験でした。これからもロータリーとの絆を続けたいと思います。これから学友会に加入したいと思います。是非、これからも宜しくお願い致します。本当にありがとうございました。



■ロータリー財団委員会 委員長 三浦 隆さん  
皆さま、こんばんは。ロータリー財団より年次基金の寄付のお願いがありまして、まだお忘れの方、締め切りの5月末迄まだあります。100周年という節目を記念して、是非ともご協力をお願いしたいので、宜しくお願い致します。

## 外部卓話

■卓話者ご紹介 三浦 和人さん  
皆さま、こんばんは。覚醒剤中毒で芸能人が2回、3回と逮捕されている事を皆さまご存じだと思います。そういう薬物中毒から足を洗うのは大変な事で、止めるつもりではいるけれども止められないのが中毒なのです。私共が覚醒剤中毒の方の弁護をする場合は、必ずダルクと連絡を取り、ダルクから資料をいただいて色々読んでいます。

ダルクは更正を目指す中毒であった人が基本的に作っている会で、本日おいでいただいている方は、お世話をする家族の会の方なのですが、要するに覚醒剤中毒を止めようと思う人が集まってやる会がダルクです。名古屋ダルクは日本で2番目に出来ています。ちょうど名南RCが出来る1年位前に名古屋ダルクが結成されています。

ともかく覚醒剤中毒・薬物中毒から足を洗うのは大変で、大体覚醒剤をやり始めて、平均的に見ますと8.5年経ってダルクにたどり着いて、それからようやく止める段取りがついて、順次出来るという事です。愛知県弁護士会や精神保健福祉士会の関係の方とも色々協力し合っていてやっておりますが、中々根絶やしには出来ない問題であり、家族の方も非常に苦勞をしておられます。その辺の話を繁原さんにひとつお願いしたいと思っております。繁原さんは病院で30年ほど色々面倒を見られて、ダルクは15年位だそうですね。宜しくお願い致します。

## ■ダルク家族相談室

精神保健福祉士 繁原 賢吉さん  
こんばんは。本日はお招きいただきましてありがとうございます。せっかくの機会ですので、YouTubeに動画をアップさせていただくのにビデオを撮らせていただきます。宜しくお願いします。

自己紹介となりますが、私は今から15年前に相談室を立ち上げました。私は精神病院で30年程勤めていまして、ほとんど治らないという人達ばかりでし

た。自分ではどうしたらいいかと色々苦勞をしていたのですが、ダルクというリハビリの施設のスタッフと出会う事が出来まして、本人の支援はダルクにお任せして、家族はこちらの相談室の方で支援をしましょうという事で、実は昨年亡くなられた外山さんとスタッフと話し合っただけで始めました。



実は家族が変わると本人も変わっていきます。本人との関わりがなかなか難しく、かえって本人が薬を使うのを刺激してしまう傾向になりやすいです。薬を止めさせようと家族は必死になるのですが、止めさせようとすればするほど逆に薬にしがみついていくのです。ですから使うか使わないかは本人に任せるといふという関わり方の方が逆にいいようです。そういう事で今日は、薬物だけでなく他の依存症も交えてお話をしてみたいと思います。

昔は依存症とは言われていませんでした。私は田舎育ちで父親は小さな村の床屋さんをやっていました。床屋さんというのは当時、村の結婚式や葬式など色々な情報がお客さんから集まってくる所でした。私は小学生の頃、母親からよくあそこの人がどうだこうだと聞かされました。そういう話を聞いて、今ではギャンブルも病気、依存症であると言われていますが、当時はやはりギャンブルだけでなく飲む・打つ・買うと言われて、病気と言うよりは噂話で済んでいました。それがきっかけというわけではありませんが、私は何故か気付いたら仕事や相談室を立ち上げて今やっています。しかし、なかなか病院では治らないという事が分かってきて、何故なのかという事で考えてみると、先程言いましたように薬を止めさせたいという周りの人達が多いのです。どうしてもやはり本人は、一時は止める決心をするのですが、なかなか入院をしても退院してその日から、例えばアルコールの人だと飲み始めてしまうという事が起こるようになりました。

昔は依存症とは言われずに中毒と言われていました。アルコール中毒、薬物中毒などです。当時はギャンブル中毒とは言われていなかったですが、依存症という病気とは区別をして考えないと、やはり病気の本体は見えてこないという事です。例えば、一酸化炭素中毒と薬物中毒は違うわけですが、依存に対して出来上がっていく病気なのです。薬物の場合は一種のアレルギー体質とも言われていますが、アルコール中毒やアルコール依存症は体質が出来上がってしまうと元には戻りません。入院を繰り返してもアルコールが止められない、リハビリをしない限りは立ち上がれない病気があるのです。

現在、依存症の種類は沢山あります。皆さまが思いつかないものもあるかもしれませんが、アルコール、薬物、処方箋、生活保護を受給した人がもらった薬を売るなど、それから薬局で売っている市販薬にも依存症にはまっていく人がいます。やはり薬局で万引きをして捕まってしまう、違法薬物ではないけれども捕まってしまう人達もいます。ギャンブル、性行為、買物、リストカット、電話や虐待、暴力なども繰り返される場合は依存症と考えていく必要があると思います。

それから仕事中毒、仕事依存と言われて、夜遅

くまで家に帰らずに仕事をするという依存症の人もいらっしゃる。某大手新聞社の記者の方がアルコールで入院してきたのですが、その方の話を聞いたら、うちの新聞社には家に帰らずに会社で寝泊まりをして仕事をしている人ばかりだと。家に帰っても仕事ばかりで切り替えられないのです。それからネット依存や恋愛依存、カード依存などもそうです。身近な薬物にはワインや焼酎、ビールなどがあるのですが、風邪薬で咳止め薬が使われる事も結構多いです。精神薬や睡眠薬、鎮痛剤など、結構私達の身近にも依存症が始まる薬物は色々あるという事です。

医療だと抗うつ薬や精神薬など色々あるのですが、私が精神病院に勤めていた時は、依存症の人が来るとまず、「この薬をください。」と薬の名前を指定して来たり、自分の症状をオーバーに言って薬の処方の量を多くしてもらったり、薬をなくしてしまったからもう一度出して欲しい、中には30件位のクリニックや病院の診察券を持っていて、付近10件位受診して回るといふ人もいらっしゃいました。そのように結構身近な所にこの病気があるという事が言えると思います。最近ではピンク依存症や整形依存症などという病気もあると言われていています。ピンク依存症というのは、自分の着ているものだけでなく髪の毛もピンクにして、ペットはもちろん乗っている車や部屋もピンクにして、ピンクから離れられないという病気です。

様々な依存症が一見バラバラに見えるように見えますが、実は根っこは同じ病気です。共通して言える事は、薬物に対して行動や感情がコントロール出来ないという事です。コントロールしていたものが出来なくなってしまふのがこの病気の症状なのです。

アルコールと薬物は他の依存症と何が違うのかと言うと、これは専門家に聞いたわけではないのですが、私が立ち直った人達の経験を色々聞いてみると、薬物やアルコールの人は外から自分の気分を変える薬物を取り入れるわけですが、例えばギャンブルや買物、リストカットなど他の依存症は体内にある脳内麻薬というのをを使うのです。五感を通して刺激を得る事により、脳内麻薬と言われているドーパミンだとか最近言われているエンドルフィンという脳内麻薬があります。それは医療用麻薬の6.5倍位の鎮痛作用があるといひます。

そのエンドルフィンという脳内ホルモンなのですが、それを他のアルコールや薬物中毒以外の方は刺激を得る事により、見たり聞いたり五感を通して自分を刺激する事で脳内麻薬を体内に放出するというからくりが出来ているという事です。先程暴力やリストカットも言いましたが、それもやはりそういう事をする事で脳内麻薬が出てきます。例えばランナーズハイというのを聞かれた事があると思いますが、実は長時間走っていると脳内ホルモンが出てきて気分が高揚し、快感を得られるようになるのです。普通だと長距離を走ればとても疲れて大変なのに、それに快感を覚えるという事が起きてくるそうです。高橋尚子さんも体験談として話されていました。エンドルフィンという脳内ホルモンは、そういう作用を私達の体の中でうまく使っているうちはいいのですが、依存症という状態になってくると、繰り返して使っていると依存体質ができてはまってしまふという事が起きてきます。この依存症というのは、

中々止められないとか時間がかかるとか言われていますが、私は回復できる病気で、回復のプログラムを徹底的にやれば立ち直れる病気だと思います。

先程三浦先生からの紹介でもあったように、ダルクにたどり着くまでに8.5年ほどかかっています。ダルクへたどり着くと、1.3年位で回復のターニングポイントを迎える事が出来ると言われています。とことん回復のプログラムをやる事が決め手のようです。私達はそういうプログラムをやるリハビリの施設に繋げていく事や、NA (Narcotics Anonymous) という自助グループがあるのですが、名古屋でも毎日夜7時~8時迄ミーティングを開いて、ミーティングに出る事により回復できるようです。止める事を誓うだとか約束するとかそういう事ではないのです。ミーティングというのは、その中で自分の事を正直に話す事、例えば薬を使いたいなら使いたい、使ったなら使っちゃったなどと正直に話せる事が大事なのです。社会ですと正直になれと人から要求されるのですが、実はミーティングに出ると、仲間が自分の話を正直に話しているの、それを聞いていると自分も正直に話したくなってきます。最初の3ヶ月位は他人事のように聞こえてくる事もあるようですが、毎日継続してミーティングに出ると、自分とそっくりな状況の人と出会って、やはり自分も病気なのかと受け入れられるようになってきます。正直に話せるようになる事で自分が楽になるのです。自分は駄目な人間であるとか、生きていても仕方がない人間であるとか、価値がないなど非常に自尊心が低くて、自己評価が低いのです。そういうミーティングに行くと、仲間が同じような事をやってきているので、この人達と一緒にやればいいのだという事で、正直になる事がとてもミーティングの中で大事にされています。

もう一つは、ミーティングに行かないとまた再使用する事が多いようです。もう2日行かなくても自分は止められた、1週間行かなくても使いたいと思わないと思っても、気が付いたら使ってしまうという事が起きてしまうようです。依存症というのはやはりいつも自分の気持ちのマイナスの荷下ろしをミーティングの中で繰り返していき事が大事なようです。誓う事ではなくて自分の気持ちの負担を、荷下ろしを毎日していく。NAのミーティングというのは、先程申し上げたように夜7時~8時迄1時間あり、長くはないのです。1時間以上だと飽きてくるので、1時間で毎日やるそうです。そういうミーティングを続けると、薬を止められると言われています。実際に止められるようです。

病院でどうにもならなかった人達が、ダルクにたどり着くと止められるという。以前からダルクや自助グループに繋げる、橋渡しをしてくださる方が中々いらっしゃらなくて、ほとんど弁護士さん達のお力添えをいただいているのです。普通病気ならば医者や看護師などの医療スタッフがダルクを紹介すればいいのですが、ダルクにたどり着くきっかけを作ってくださいるのは弁護士さんなのです。弁護士さんのお力で随分立ち直った人達がいらっしゃいます。立ち直った人達の経験を聞いて何が一番役に立ったかと言いますと、病院の指導やプログラムなどは難しくよく分からなかったと。一番役に立ったのは良い情報に出会えた事だと。良い情報という

のは、ダルクという所があるよ、立ち直る事が出来るよという、立ち直った人の体験やメッセージを見たり聞いたり読んだりする事で、立ち直っていくきっかけを作ってくださいているようです。

新聞にダルクの事が載っていたりテレビで放送されたり、年に1回フォーラムを開いて全国から薬を止められている人達が自分の体験を話す集まりがあるのですが、そういうものをニュースで見たりする事で、自分も何とかなるだろうかと立ち直っている人達の後をついて行く事が出来るようです。そういう橋渡しをしていただく事、薬を止められない人、あるいは心配している人、困っている人がいれば、私は何も出来ないからこういう所に電話をかけてみたら?という事で、電話番号だけ教えてくださる事がいいようです。

1週間前に名古屋拘置所から女性の方から手紙をいただきました。止められないのですが、以前ダルクの事は聞いた事があるけれどもどうしたら行けるのか?年を取っているけれども私などが入れてもらえるのかなど、何枚もの便せんにぎっしりと書いてありました。立ち直った人達へのきっかけを作ってあげる事、橋渡しをしてあげる事が大事だと思います。これは誰でも出来る事だと思います。困っていそうな人がいれば、ダルクに相談してみたらと、こういう所があるよと教えてくださればいいようです。回復の手助けは医者のような専門家でなくても出来るという事です。もし皆さまにもそういう機会がありましたら、ダルクの電話番号だけ教えてください結構です。

それから私共は家族の応援支援を行っているのですが、先程も申し上げたように家族が変わると本人も変わっていくのです。家族が混乱していると本人も薬を使い続けるのです。料理人のようで良くなるのも悪くなるのも家族次第で、家族が変われば本人も変わると昔からも言われておりますが、現実にはどのように家族がサポートしていくのかという事が確立していません。本人は薬を止めていく事で、回復する事で何とかなっていくのですが、実は家族はいつまた薬を使って暴れるのではないかと、金をよこせと言ってくるのではないかと、暴力を振るうのではないかと、あるいは病院に入院していても逃げ出してくるのではないかと、刑務所に入っているも釈放の時期が来ると眠れない日々を送るご家族の方もいらっしゃいます。

家族はいつも薬を使っている人と同じ屋根の下で生活していると、不安にさらされていきます。不安と恐れと不安の先取りの3つが家族を一番つらい思いにさせていくものだと思います。家族の相談支援というのは、そういう意味ではとても大事だと思います。不安や恐れ、不安の先取りにはまったのをそのままにしておくと、起きもしない事を起きるのではないかと妄想と言うほどではないですが思えてきて、頭の中がいっぱいになってしまって仕事も手につかない、ご飯も食べられない、夜も眠れなくなってしまうというご家族もいらっしゃいます。

私共相談室は24時間体制で相談を行っております。24時間と言っても夜中に電話がかかってくる事はほとんどないです。大体12時位迄です。12時位迄に電話をかけていただくと、その日は10~15分位お話を聞いただけですが、気持ちが楽になったとか、

笑い声が聞こえるようになってくるのです。そうやってご家族が不安な夜を過ごすよりは、恐れや不安の先取りを明くる日に持ち越さない事がとても大事ななと思っています。15年間やってきて、やはり家族が変わると本人も変わるなとつくづく思います。

そういう意味で、本日はこういう機会をいただいとお話をさせていただきました。ご本人に直接関わるという事はほとんどないと思いますが、もし皆さまの中で何かの機会がありましたら、ダルクというところがあるので相談してみたら?とご連絡くださるといいなと思います。24時間なので全国から電話がかかってくるのです。北は北海道から南は沖縄まで。何故か東京からもかかってきて、東京なら色々な相談窓口や専門家も沢山いらっしゃると思いますが、現実はそのようではないようです。病院に入院していたけれども、退院してから又使ってしまったと相談される事もあります。薬物には国境がありませんので、そういう意味では深刻です。

本人からの相談もあります。北海道で大麻を栽培していただとか、密輸をしてセントレアで捕まってしまったなど、本人からどうしたらいいのかと電話をいただくこともあります。最近はネットで良い情報も悪い情報も沢山あるので、中々その辺を見極めるのは大変かもしれませんが、皆さまも機会があればこういう所があるよと教えてくだされば有り難いと思います。

それから本日のお話はYouTubeで近々にアップさせていただきます予定です。YouTubeではその他にも昨年の夏に田代まさしさんに来ていただいて、お話をさせていただいたこともあります。色々な立ち直った人達のメッセージを、本人に直に届ける方法は動画だと思うのです。こっそり電話をかけると言っても人には相談できないし、自分がどうしたらいいのかという事で悩んでいらっしゃる方は、ネットを見てくださいるといいですね。田代まさしさんのYouTubeの動画再生回数を見ますと、約4,000回と沢山視聴率が上がったのですが、そのように色々な回復した人達のメッセージを困っている人達に届けるという事が非常に大事であると思って、YouTubeをある方のご支援で使わせていただいております。ありがとうございました。

### ■ 3月度理事会 議事録 ■

報告者 加藤 英敏さん

日時 2017年3月14日(火) 17:30～

場所 名古屋マリオットアソシアホテル  
17F『パイン』

出席者 朝比、入谷、細井、鈴木、加藤(宜)、  
加藤(英)、三島、三浦(和)、安藤、佐々木  
17名中10名参加

#### ◎審議事項

一、特になし

#### ◎協議事項

一、外部講師選定に係わる件

＜会長 木下 福郎さん＞

・5/9、6/6 外部卓話 卓話者未定  
調整後4月度理事会に決定する。

一、3/21 名古屋熱田 RAC との合同例会

アトラクションの件

＜ローターアクト委員長 加藤 英敏さん＞

・予算外アトラクション代金 30,000 円は雑費にて  
計上する。

一、6/20 IDM の件

＜親睦活動・家族委員長 安藤 修さん＞

・か茂免にて開催とする。

#### ◎報告事項

一、4月～6月度プログラムの件

＜会場運営・プログラム委員長 佐々木 暢さん＞

・協議事項同様に進める。

#### ※ 4月度理事会

4月4日(火) 17:30～

名古屋マリオットアソシアホテル  
17F「パイン」

### 第 1215 回例会 (3月24日) のご案内

西名古屋分区 I.M. 於：名古屋東急ホテル